



# 多世代交流型コミュニティ事業

～ コミュニティカフェを拠点に人と人をつなぐ ～



コミュニティカフェ「茶論」

NPO

企業

行政

教育

地縁

## ■事業運営団体

多世代交流型コミュニティ実行委員会

## ■協働パートナー

〔多世代交流型コミュニティ実行委員会構成員〕  
地域の子ども会・老人会・小中学校・企業など

☆NPO法人テラス21

☆柏農家の野菜市運営委員会

☆東京大学(牧野研究室) ☆柏市

☆柏市社会福祉協議会

## ■事業の手法

☆補助金・企画立案・事業協力

## ■事業費

☆390万円

※平成23年度「連携・協働による地域課題解決モデル事業(千葉県)」実施時の補助申請金額を基に掲載しています。

## 事業概要

地域がひとつの家族と捉えて、地域で子どもを育てる『地縁のたまご』をテーマに、小・中学校と地域が一緒になって地域づくりを進めている。具体的には、地域コミュニティや世代間の交流等を図るため、地域住民が交流出来るコミュニティカフェを運営するとともに、高齢者の知恵や特技を若者に伝承する「まちセミ」や、東大生による子供向けの講座の「東大キッズセミナー」等、様々なイベントを開催しています。

## 協働までの経緯

柏市高柳地区は、昔からの農村地帯と新規に宅地開発された住宅地とが混在している地域で、新旧住民の交流が少なく地域コミュニティの希薄化という課題を抱えていました。

そのような背景の中で、近隣の中学校の生徒の保護者から、子どもの健全育成や、安全な環境づくりを望む声が多数上がったことをきっかけに、PTA等と学校が連携し、地域全体で子どもたちを見守るボランティア団体「高柳地域ネットワーク(TCN)」を設立し、パトロール等の見守り活動を行っていました。

一方で、柏市社会福祉協議会が高柳地域での新たな地域活動センターの設立にあたってアドバイスを受けていた東京大学の教授が地域づくりに見識が深く、高柳地域でのTCNの取り組みを知った際に、更なる地域課題の解決のためには、より地域内の連携を深めていくことが必要であることから、多世代交流による地域課題解決の方法をTCNに提案しました。

その提案をきっかけに、TCNを中心とした「多世代交流型コミュニティ実行委員会」が平成22年に設立され、地域の活動団体等に協力を呼び掛けたことで、地域連携による活動が始まりました。

その後、実行委員会による円卓会議により、様々なイベント等を考案していく中で、地域住民の交流拠点が必要と考えたため、柏市へ高柳児童センターの車庫の一部を活用したコミュニティカフェの創設について相談したことから、柏市も連携に加わりました。

その後も、市の非常勤職員が所属していたNPO法人テラス21や、地域で野菜の直売等を行っていた柏農家の野菜市運営委員会も連携に加わり、千葉県が補助金事業として募集した平成23年度の「連携・協働による地域課題解決モデル事業」や平成24年度の「魅力ある地域づくり推進事業」等に採択されたことで、活動が広がりました。

## 主な事業内容(年間スケジュール等)

- ①実行委員会を中心とした打ち合わせ(月1回)
- ②コミュニティカフェの運営(通年)
- ③まちセミ(月数回)
- ④東大キッズセミナー(年数回)
- ⑤コミュニティカフェ内での野菜の定期市(週1回)



地元の人が講師を務める「まちセミ」



「茶論」前での定期市



東大の学生と地元中学生がデザインした「茶論」のシャッター

## 主な協働パートナーとの役割分担

### 【NPO】

実行委員会：各団体への連絡調整、各種イベント等の企画・運営、  
コミュニティカフェの運営

NPO法人テラス21：補助金及び寄付の調達、NPOとの連絡調整  
柏農家の野菜市運営委員会：定期市への出店

### 【行政】

施設管理と維持費の援助等、地域・大学・行政内の連絡調整、  
他市からの視察・研修等の調整、イベント等の広報や公共施設の提供

### 【社協】

地域の活動団体への連絡、地域ニーズの把握、補助金等の支援

### 【大学】

事業全体のアドバイス、東大キッズセミナーの企画・運営

## 協働事業によって生まれた成果

- 東京大学の教育学部の生徒が、講師として地域の子どもと触れ合うことで、現場で実績を積む良い機会となっている。
- 学校や社協との連携で、子どもやその保護者、高齢者へと活動を周知し参加を呼び掛けることが可能となり、地域全体を活動に巻き込むことができた。

## 今後力を入れていきたいこと

- 今後もコミュニティカフェを拠点に、住民の交流を促進していくとともに、必要に応じて連携団体を増やしていきたい。
- 実施事業の中で活動資金を生み出す仕組みを考え、自主財源を確保していくことで今後も持続可能な活動を目指したい。

### ♡ コラボのコツ!!

- ★柔軟な役割分担で緩やかな連携を保つ
- ★地域の実情をよく知る団体を巻き込む
- ★コーディネーター（つなぎ役）の存在

協働していく中で、役割分担を柔軟にし、緩やかな連携関係で活動を行っていることで、それぞれの団体が横断的に活動出来るとともに、活動の目的を全員が共有できています。

老人会や子ども会など、地域に根差した活動を行っている団体による実行委員会を中心に活動することで、地域のニーズに沿った事業を実施できます。

各団体にコーディネーターを置き、スムーズな連絡調整を行っています。



東大キッズセミナー

### 運営団体マネジメント&活動実績

#### \* 多世代交流型コミュニティ実行委員会

【活動開始年】平成22年

【代表者】常野正紀

【住所】〒277-8505 柏市柏5-10-1(柏市役所)

【TEL】047-167-1126(柏市役所)

【事業担当者】村田修治(柏市地域支援課 市民協働支援員) 【e-mail】chiki-ic@city.kashiwa.lg.jp(柏市)

#### ■ 広報ツール

WEB   メルマガ   広誌   ブログ   FB   tw

#### ■ 協働事業の実績

企業   行政   教育   地域   NPO

#### ■ これまでに支援を受けた補助金等

【補助金】①千葉県：連携・協働による地域課題解決モデル事業(H23)  
②千葉県：地域コミュニティ活性化事業(H25)  
③柏市社会福祉協議会：地域課題解決活動助成

#### ■ 表彰歴・マスコミ掲載歴等

①千葉県：ちばコラボ大賞(H24)  
②NHK：サキドリ(H26)

